

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月7日 (2016.4.7)

【公開番号】特開2015-199769(P2015-199769A)

【公開日】平成27年11月12日 (2015.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-070

【出願番号】特願2015-126368(P2015-126368)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/08 (2006.01)

A 6 1 P 5/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02 Z N A

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 3/08

A 6 1 P 5/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 14/00

C 0 7 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月18日 (2016.2.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

高コレステロール血症を予防または処置するための組成物であって、有効投与量の、配列番号 9 の配列を有するグアニル酸シクラーゼ受容体アゴニストを含み、該配列は [ 4 , 1 2 ; 7 , 1 5 ] 二環体である、組成物。

【請求項 2】

有効用量の c G M P 依存性ホスホジエステラーゼの阻害剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

c G M P 依存性ホスホジエステラーゼの前記阻害剤が、前記組成物と同時または順次に

投与されることを特徴とする、請求項 2 に記載の組成物。

**【請求項 4】**

有効用量のフィブレート、脂質改変剤、または H M G - C o A レダクターゼ阻害剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 5】**

前記フィブレート、脂質改変剤、または H M G - C o A レダクターゼ阻害剤が、前記組成物と同時または順次に投与されることを特徴とする、請求項 4 に記載の組成物。

**【請求項 6】**

有効用量の抗糖尿病剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 7】**

前記抗糖尿病剤が、前記組成物と同時または順次に投与されることを特徴とする、請求項 6 に記載の組成物。

**【請求項 8】**

有効用量の抗肥満剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物。

**【請求項 9】**

前記抗肥満剤が、前記組成物と同時または順次に投与されることを特徴とする、請求項 8 に記載の組成物。

**【請求項 10】**

フィブレート、脂質改変剤、H M G - C o A レダクターゼ阻害剤、抗糖尿病剤、または抗肥満剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 2 に記載の組成物。

**【請求項 11】**

前記フィブレート、脂質改変剤、H M G - C o A レダクターゼ阻害剤、抗糖尿病剤、または抗肥満剤が、c G M P 依存性ホスホジエステラーゼの前記阻害剤と同時または順次に投与されることを特徴とする、請求項 10 に記載の組成物。

**【請求項 12】**

前記フィブレート、脂質改変剤、または H M G - C o A レダクターゼ阻害剤が、前記高コレステロール血症を処置するための標準用量未満で投与されることを特徴とする、請求項 4 に記載の組成物。